

## 平成27年6月号 予防タイムズPART4

ページ番号182595

ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます

 ツイート シェア

2015年6月1日



石油類をはじめとした危険物は、日常生活のあらゆる分野に浸透しており、社会生活の向上に大きく貢献しています。ただ、ひとたび取扱いを誤ると、火災又は爆発などの災害を引き起こす潜在的な危険を有しています。このため、危険物は消防法令により厳しく規制されており、毎年6月に実施される危険物安全週間においては全国各地で様々な啓発活動などが行われています。

しかし、危険物安全週間が6月に実施されることを疑問に感じたことはありませんか。6月は梅雨の時期で湿度が高いため、火災を起こす原因の一つとなっている静電気は発生しにくい季候です。そこで、危険物安全週間が始まるきっかけとなった災害を紹介します。

### 株式会社宝組勝島倉庫爆発火災

危険物火災の恐ろしさを世に知らしめたのは、今から50年ほど前、昭和39年7月14日午後9時55分頃に発生した株式会社宝組勝島倉庫爆発火災です。

この火災は、東京都品川区勝島に所在する株式会社宝組勝島倉庫の103号倉庫近くの空地に野積みしてあったドラム缶入りの硝化綿(ニトロセルロース)から出火し、爆発火災となって、同地区内の倉庫及び周辺空地、さらには道路を隔てた空地に無許可で貯蔵されていた硝化綿、アセトン、アルコール類などに次々と引火しました。

この爆発火災が鎮圧状態となった午後10時55分頃、最初の爆発火災から30メートルほど離れた12号倉庫に貯蔵されていた、メチルエチルケトン・パーオキシド類(第5類 自己反応性物質)を誘爆させた2回目の大爆発が発生し、夜空に100メートルを超える巨大な火柱が噴き上がり、原子爆弾を思わせるような不気味なキノコ雲が上昇していきました。

この爆発火災により、消防活動に従事していた消防職員18人、消防団員1人が一瞬にして生命を奪われ、また消防職員・団員など158人が重軽傷を負うという、日本の消防史上まれにみる大惨禍が発生しました。

#### <参考>

- ・ ニトロセルロースは、東京オリンピックの開催を控えた昭和38～39年当時、塗料の原料としての需要が高まっていた。
- ・ 火災発生の4日前、昭和39年7月10日に東京消防庁 大井消防署が査察に入った際に、危険物貯蔵許可を受けていた屋内貯蔵所以外の敷地内に、危険物第4類を中心に第1類、第3類、第5類の危険物を指定数量の2万倍以上を無許可貯蔵されていたのを確認し、撤去について指導していました。

しかし、その後も撤去しないばかりか保管量を増やし、火災当時は1,000本を超えるドラム缶が置かれていました。また、消火に当たった消防隊員には、12号倉庫内に大量のニトロセルロースが保管されていることは知らされていませんでした。

- ・ 発生数日前にサンプル作成のため、ドラム缶の内容物の一部を取り出した際に再密封が不完全で、湿潤させていたアルコールが気化し、ニトロセルロースが乾燥したことが発火の原因と推定されています。

### 危険物安全週間の始まり

この災害を教訓に、危険物を取り扱っている事業所などに対して、危険物の自主保安管理の推進を呼び掛け、また、市民に対しては、危険物に関しての意識の高揚・啓発を図るとともに、市民生活の安全を確保することを目的として、平成2年に自治省消防庁(現・総務省消防庁)によって「危険物安全週間」が制定されました。これは、7月に発生した株式会社宝組勝島倉庫爆発火災のように、気温が高くなったことにより、セルロイド類などの危険物の自然発火による火災が多くなる夏季を目前にした6月初旬に啓発活動を行うために設けられたのです。

この危険物安全週間は、毎年6月の第2週の日曜日から土曜日までの一週間で、京都市消防局においても、危険物を取り扱う事業所における自主保安体制の確立及び防災教育、自衛消防組織による訓練、保安対策の強化を主眼とした査察、消

防訓練などを実施しています。



勝島倉庫爆発火災現場  
提供：東京消防庁消防博物館

平成27年  
6月号目次

お問い合わせ先

京都市 消防局消防学校教養課

電話:075-682-0119

ファックス:075-671-1195

区役所ホームページ

[北区](#) [上京区](#) [左京区](#) [中京区](#) [東山区](#) [山科区](#) [下京区](#) [南区](#) [右京区](#) [西京区](#) [伏見区](#)

(c) 2015 City of Kyoto. All rights reserved.

閉じる

## 平成27年6月号 市民安全課通信

ページ番号182588

ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます [ツイート](#) [シェア](#) 2015年6月1日

梅雨入りから台風の季節までは、水災害、土砂災害の危険性が高まります。災害の危険性を少しでも減らすためには、的確な防災情報の収集が欠かせません。そこで役に立つのが、気象庁が発信する防災情報です。

気象庁は、近年のゲリラ豪雨等による災害を受けて、様々な対応を行っています。技術の進歩により、現在では、これまでに以上に精度の高い気象や災害の予測が可能となっています。我々消防職員も、これら気象庁の防災情報を上手に活用して災害に備えるだけでなく、市民からの問合せや市民指導など、様々な場面に生かしていきましょう。

以下に活用方法の一例をご紹介します。

### 気象庁のホームページ

気象庁のホームページを開き、防災情報をクリックします。

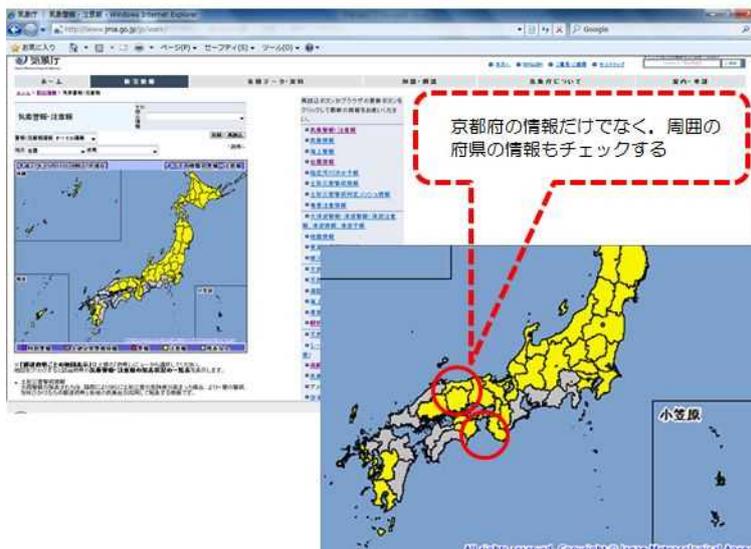


### 気象警報・注意報

気象警報・注意報を調べるときは、京都府の情報だけでなく、周りの府県の情報も見て、京都府の現在と今後の状況を知ることがポイントです。天候は西側から変化してくることが多いため、雨雲の流れから推測し、特に兵庫県や大阪府、和歌山県など、京都府より西側の府県の情報を知る必要があります。

例えば、大雨警報によって岡山県が警報を表す赤色になり、しばらくして兵庫県も注意報を表す黄色から赤色になれば、次は京都府にも大雨警報が発表される可能性があるかと予測することができます。

なお、都道府県の中で一つでも警報の市町村があれば、都道府県全体が赤くなりますので、どの市町村にどのような警報が発表されているかを知るためには、都道府県をクリックして詳細情報を表示させます。



### 解析雨量・降水短時間予報

解析雨量・降水短時間予報で、6時間先までの降水情報を調べることができます。

動画方法選択画面において「現在から6時間後」までを選択し、動画開始することで、6時間先までの1時間ごとの降水域の分布及び移動状況を把握することができます。

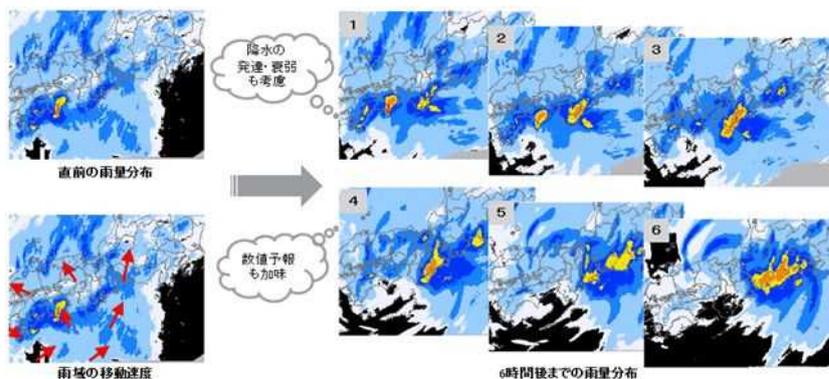
また、「地方」のところで「全国」を表示させれば日本全体の状況が、「近畿地方」を表示させれば京都府周辺の状況を知ることができます。



降雨の強さは青色から黄色、赤色へと変化するほど強くなりますので、例えば黄色の中に赤が混じった領域が西から移動してきたら、まもなく京都市にも強い雨が降るだろうと予測することができます。

なお、解析雨量の作成にはレーダーが使用されており、アメダスの雨量計でも補正されていますが、実際の雨量とは誤差が出る場合があります。正確な降水量は京都市水災情報ネット等で確認してください。

### 降水短時間予報 6時間後の雨量分布のイメージ



### 高解像度降水ナウキャスト

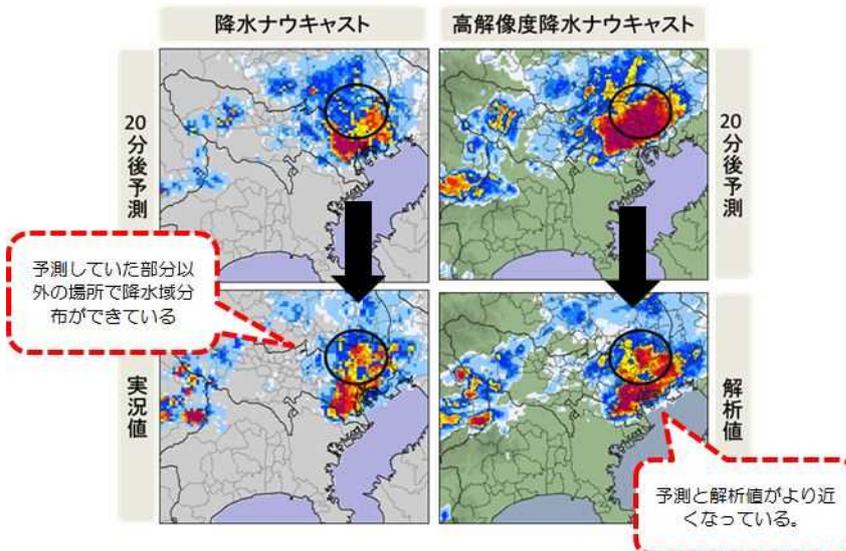
より詳細に直近の降水域を知りたい場合は、高解像度降水ナウキャストで調べます。

近年のゲリラ豪雨では、わずか数分から数十分の間で河川の増水や低地の浸水等の被害が発生しています。平成26年8月から開始された「高解像度降水ナウキャスト」では、このような短時間の急激な変化を予測することができます。

「高解像度降水ナウキャスト」では、30分先までの5分ごとの降水域の分布を250メートル四方(従来の降水ナウキャストでは1キロメートル四方)の細かさで予測できるため、これまで困難であったゲリラ豪雨の予測にも、大いに活用することができます。



従来の降水ナウキャストと高解像度降水ナウキャストの違いのイメージ



土砂災害警戒判定メッシュ情報

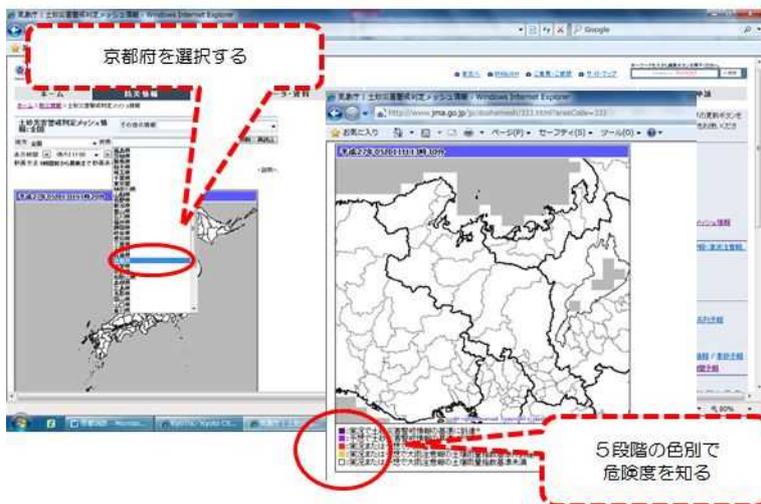
大雨警報(土砂災害)が発表されている状態で、土砂災害発生の危険性が高まると市町村単位で(京都市では行政区単位で)土砂災害警戒情報が発表されます。気象警報・注意報の画面では、土砂災害警戒情報が発表された市町村を含む都道府県は赤色から赤の斜線に変わります。

京都市では土砂災害警戒情報は行政区単位で発表されますが、更に区内のどの辺りでどの程度危険性が高まっているのかを知りたいところです。

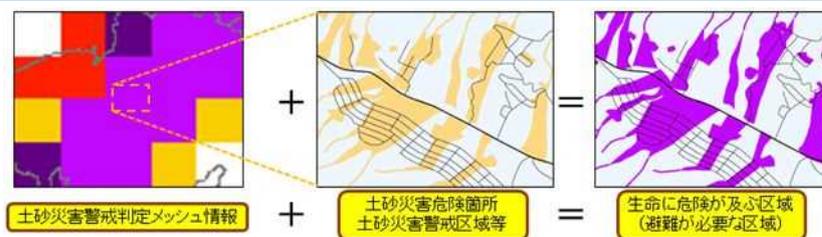
土砂災害警戒判定メッシュ情報は、土砂災害警戒情報を補足するため、平成25年6月から開始されました。土砂災害警戒

情報では、行政区単位でしが表示されなかったのに対して、土砂災害警戒判定メッシュ情報は5km四方の領域(メッシュ)ごとに土砂災害発生の危険度を5段階に判定した結果を表示しています。

メッシュが赤色や紫色になっていて、更に大雨が続くようであれば、土砂災害警戒区域等の危険な区域に居住している人は、避難に掛かる時間を考慮して、できるだけ早く避難することが重要です。



**土砂災害警戒判定メッシュ情報と土砂災害危険箇所から生命に危険が及ぶ区域を特定する**



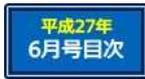
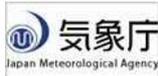
**まとめ**

以上、気象庁のホームページの活用方法を御紹介しました。気象庁では、水災害や土砂災害につながる危険性のある情報をできるだけ早く人々に伝わるように、様々な情報発信を行っています。このような情報を無駄にせず、有効に活用することが大切です。

市民の命を守る消防職員として、市内に大きな被害が発生する前から、防災情報について高いアンテナを張り、災害への事前準備や市民からの問合せ、また、市民指導などに積極的に生かしていきましょう。

※ 内容及びイメージ図については、気象庁の利用規約に基づき使用しています。

利用規約について (<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/info/coment.html> [外部リンク](#))



お問い合わせ先

---

京都市 消防局消防学校教養課

電話:075-682-0119

ファックス:075-671-1195

区役所ホームページ

[北区](#) [上京区](#) [左京区](#) [中京区](#) [東山区](#) [山科区](#) [下京区](#) [南区](#) [右京区](#) [西京区](#) [伏見区](#)

(c) 2015 City of Kyoto. All rights reserved.

閉じる



現在位置: [トップページ](#) [安心・安全情報](#) [Web「京都消防」](#) [「Web京都消防」平成27年6月号](#)  
平成27年6月号 消防音楽隊♪(ドレミファイヤー)の練習室探訪

## 平成27年6月号 消防音楽隊♪(ドレミファイヤー)の練習室探訪

ページ番号182586

ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます

[ツイート](#)

[シェア](#)

2015年6月1日



「web京都消防」の読者の皆さん、こんにちは！

音楽隊の活動や吹奏楽など、音楽の話題を提供する新人音楽隊員の♪(ドレミファイヤー)です。音楽を身近に感じてもらえるような楽しいページにしたいと考えています。

まずは、京都市消防音楽隊の紹介です。

### 【京都市消防音楽隊プロフィール】

- 1 発足年 昭和30年12月1日(♪:今年で60年目です。)
- 2 演奏回数 232回(平成26年度)
- 3 隊員数 24名(消防吏員6名及び非常勤嘱託員18名)
- 4 演奏の形態 座奏, 立奏, パレード演奏, ドリル演奏
- 5 演奏会の対象者 0歳から年齢無制限です。幅広い年齢層を対象としています。
- 6 楽譜数 4,354曲(平成27年4月現在)

### 【京都市消防音楽隊の新メンバーを紹介します!】

4月1日から若くて力強い7名のメンバーが加わりましたので、紹介します。

鳥羽水環境保全センターの藤棚の前で、一般公開のオープニングを飾るパレードの前の緊張感のある記念撮影です。撮影後にそれぞれの意気込みを熱く語ってくれました。

七色の虹のように個性的な新メンバーが加わって、更にパワーアップした消防音楽隊を演奏会で実感していただければ…と思います。

藤井 航平(トロンボーン担当)  
音楽を通して、市民の皆様には防火・防災について伝えることができることを大変嬉しく思います。これから良い演奏ができるようにがんばっていきますので、よろしくお願ひいたします。



山口 耕平(打楽器担当)  
一人でも多くの市民の皆様にお立ち止まっていただけるように、より良い音楽を目指して日々精進していきたく思います。



<p>保田 咲子 (クラリネット 担当) 音楽を通じて、市民の皆さんに防火・防災について考えてもらえるよう、精一杯活動していきたいと思っています。</p>		
	<p>河内 よしの (サクソフォーン 担当) たくさんのご経験し、吸収していきたいです。 市民の皆さんにステキな音楽を聴いていただくとともに、防火・防災を呼び掛けていきたいと思っています。</p>	
<p>野村 優子 (サクソフォーン 担当) 音楽を楽しみながら、少しでも多くの人に防火・防災のことに興味を持っていただけると嬉しいです。</p>		
	<p>増本 文美 (打楽器 担当) 私たち消防音楽隊が演奏をすることで、音楽を楽しみながら少しでも防火・防災について、考えてくださる方が増えていくように頑張ります。 応援よろしくお願いします！</p>	
<p>松本 ひまわり (トランペット 担当) 音楽を通じて、市民の皆様は防火・防災について少しでも知っていただけるようしっかりとPRしていきたいと思っています。</p>		

平成27年  
6月号目次

お問い合わせ先

京都市 消防局消防学校教養課  
電話:075-682-0119  
ファックス:075-671-1195

区役所ホームページ

[北区](#) [上京区](#) [左京区](#) [中京区](#) [東山区](#) [山科区](#) [下京区](#) [南区](#) [右京区](#) [西京区](#) [伏見区](#)

閉じる

現在位置: [トップページ](#) [安心・安全情報](#) [Web「京都消防」](#) [「Web京都消防」平成27年6月号](#)  
 平成27年6月号 わが社の防火防災自慢

## 平成27年6月号 わが社の防火防災自慢

ページ番号182589

 ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます
 [ツイート](#)
[シェア](#)
 2015年6月1日

**わが社の防火防災自慢**

### 集中豪雨対策から得られたもの

**医療法人三幸会 北山病院**  
 事務長 千馬 信彦 氏

### 病院紹介

原稿を書いているこの時期、病院の周りはおもじの若葉で鮮やかな黄緑色に彩られます。個人的には、桜の花よりこのやさしい緑が気に入っています。私が勤務する医療法人三幸会 北山病院は、左京区岩倉の自然豊かな山の麓に位置しています。この岩倉は「日本のゲール」と呼ばれ、日本の精神科医療発祥の地とされていますが、心の病との関係はさらに古く、救いを求めて大雲寺にお参りする方々を宿泊させた「茶屋」の歴史は、寛政8年(1796年)にまで遡ることができます。その中の一つ、文化12年(1815年)に開業した若狭屋という茶屋(後の城守保養所)の各室を病室にし、昭和29年8月に北山病院は開設されました。当初の病床数は37床でありましたが、現在は448床の精神病床に介護老人保健施設100床を併設する規模となっています。傾斜地である敷地内には、病棟のある建物が4棟あり、山の麓に位置するという点で防災上の心配事を日々抱えている状況です。



### 防災上の取組

皆様も感じておられると思いますが、ここ数年、降り始めから短時間に大量の雨が降ることが多くなっているように思います。山肌にしみ込む間もなく、一気に谷筋に雨水が集まります。10年以上前になりますが、滝に打たれて心の病を治療したと言われている病院敷地内の「不動の滝」が、瞬間に茶色い水で覆われ、柵に谷筋の枝や落ち葉が詰まり、あふれてしまったため、最も低いところにある建物の1階の一部が床上浸水してしまいました。

その後しばらくは、こまめに谷筋の枝や落ち葉を撤去することで対応できていたのですが、ここ数年は、山肌からそれらを運んでくるほどの大量の雨のため、日頃のこまめな掃除に加えて、緊急時に短時間で複数の職員を召集し、枝や落ち葉を撤去する必要性を感じるようになりました。

そこで、平成23年度から「大雨土砂災害行動計画」を策定し、更新を重ね、運用しています。「病院周辺がどのような状況になったら自分は何をするのか」を各職員が一目で分かるように、A4用紙1枚にまとめた初期対応の行動計画です。計画上で役割が定められた職員・各部署の所属長に説明し、全ての職員に更新の都度、周知してもらいます。この行動計画を使った訓練は必要ありません。なぜなら、毎年、以下のような実際に運用する場面に複数回、遭遇するからです。

行動計画上、夜間の集中豪雨の場合は、気象庁から「大雨警報」が発令され、普段は水がほとんどない谷筋に山の水が流れ込み、「不動の滝」が増水すると「警戒レベル2」の状態となります。365日昼夜関係なく、初期対応に当たる事務職員から

事務長に連絡が入ります。私はこの時点で、病院の様子を確認しに行き、「きょうと危機管理WEB」や「気象庁高解像度降水ナウキャスト」などを見ながら、今後の雨の状況を予測します。必要に応じて、行動計画に上定めてある近隣に住む職員を一次召集し、複数で警戒に当たります。

さらに雨が降り続き、土砂災害警戒情報が出されると「警戒レベル3」の状況となり、災害対策本部を設置します。災害対策本部メンバーを召集し、15名ほどの職員で敷地の周りの山が崩れないか、警戒します。必要に応じて、病棟内・病棟間の建物内垂直避難を行うことを想定していますが、幸い、今までは避難を行うまでの経験はありません。



床上浸水の経験を踏まえ、みなみ棟玄関前を改修

### 取組から得られたもの

病院という組織は、医師・看護師・薬剤師・作業療法士・管理栄養士等のプロ集団で構成されています。それぞれ責任を持って診療に当たる方々ですから、診療以外の管理運営上の場面で、時として意見が噛み合わないこともあります。同じ事柄でも立場が違えばいくつもの見方がありますから、当然のことです。病院はまとまりにくい要素をもった組織でもあると思います。

しかし、大雨土砂災害行動計画を運用するようになってから、管理運営上の場面でも組織のまとまりが良くなったと感じます。おそらく、緊急時の指揮命令系統が院長をトップとする普段の管理運営体制とほぼ同じものなので、普段の管理運営上の指示命令も素早く全職員に伝わるようになったからではないかと思っています。また、各職員の意識も自分の役割を普段から意識して業務に当たるようになってきていると思います。「職種の垣根を越え、力を合わせて、目の前の危機に立ち向かう」、「常に今の自分の役割を意識し、行動する」ことが大雨土砂災害行動計画のありがたい効果となりました。

地震による災害ではどうでしょう？ 大雨による災害に関しては、事前にある程度予測できることから対応可能な面が多いのですが、地震による災害はそうはいきません。当院でも「地震災害時行動計画」を策定し、初期対応を周知していますが、実際に避難直前まで運用したことはありません。こちらは定期的な訓練が必要です。しかし、予測できない地震災害の場面でも、大雨土砂災害行動計画の運用で鍛えられた防災意識を持つ職員が複数いることが病院の宝となることは間違いありません。「予測できない・計画どおりにいかない」。このようなときにこそ、心強い仲間たちだと思います。

### 終わりに

昨年、実際にあった職員の防災意識を実感したエピソードを紹介して、結びにしたいと思います。

ある夏の深夜、私は事務当直から「警戒レベル2」の緊急連絡を受け、病院に行き、「きょうと危機管理WEB」を見ている

と、災害対策本部メンバーの看護職員が心配して病院に電話をしてきました。事務当直が聞いた内容は、「お滝の様子はどうか？ 京都府からの防災メールを見たが、左京区に土砂災害警戒情報が出ている。なぜ、対策本部を設置する連絡がないのか？ 事務長は何をしているのか？」というものでした。すぐ電話を代わり、理由を説明しました。やりとりはこんな感じですよ。

「きょうと危機管理WEBを開いて、下の方にある土砂災害警戒情報をクリックしてくれへんか。京都・亀岡をクリックすると、左京区の岩倉周辺はまだ大丈夫やろ。だいたい大原の北の方から赤くなることが多いんや。」

「本当ですね。岩倉周辺は赤くなっていません。良かったです。失礼しました。」

「とんでもない。電話してくれてありがとう。召集するかもしれへんし、今のうち休んでおいてや。」



#### お問い合わせ先

京都市 消防局消防学校教養課

電話:075-682-0119

ファックス:075-671-1195

#### 区役所ホームページ

[北区](#) [上京区](#) [左京区](#) [中京区](#) [東山区](#) [山科区](#) [下京区](#) [南区](#) [右京区](#) [西京区](#) [伏見区](#)

現在位置: [トップページ](#) [安心・安全情報](#) [Web「京都消防」](#) [「Web京都消防」平成27年6月号](#)  
 平成27年6月号 担当区ぐグット紹介

## 平成27年6月号 担当区ぐグット紹介

ページ番号182593

ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます

 シェア

2015年6月1日



### 学区の紹介

勧修小学校は、山階小学校と共に明治5年に開校した、創立140年を超える山科区で一番古い小学校で、山科区の発展に伴い、大宅校、百々校、小野校と分立していきました。

勧修学区は、西野山・柳辻・栗栖野の3ブロックに分かれており、学区内に区役所や東部文化会館など、山科区の中心的な行政機関や公共施設があります。

また、平安時代の初代征夷大将軍である坂上田村麻呂の墓と伝えられる場所や、縄文時代から平安時代まで続く中臣遺跡があります。中でも、中臣遺跡は京都市内で最も古い時代の遺物の一つであり、旧石器時代のナイフ形石器などがこれほどまとまって発掘された場所は全国的に類がないそうです。

### 自主防災会の紹介

平成26年度の勧修学区総合防災訓練では、雨天にも関わらず300名を超す参加者がありました。サランラップなど身近なものを利用しての応急手当、勧修消防分団員自作の消火まどを利用しての消火訓練のほか、学区地図を使用したブロックごとの防災型DIGなど、参加される学区民が「実際に体験し、意識を高める」ことを念頭に、毎年、斬新な試みが計画、実施されています。

また、その他にも、紙管を使った間仕切りや家屋耐震構造等について、自主防災会独自で専門家を講師として招き、防災講習会を開催するなど、新谷自主防災会会長を中心に、広い視野に立った災害対応力の向上を推進されています。

なお、これらの活動が評価され、平成27年1月17日に中京区のゼスト御池で開催された「街角シンポジウム」では、会長と副会長が京都市の自主防災組織を代表するパネリストとして、阪神・淡路大震災体験者等と対談されました。



街角シンポジウム（平成27年1月17日開催）

### 消防分団の紹介

勧修消防分団は、昭和23年10月2日に結成された歴史ある分団です。昨年度末には新たに1名が入団し、団員数は21名となりました。勧修消防分団では、勧修学区総合防災訓練や普通救命講習等において、学区民に対し防災指導を積極的に行うとともに、普段から防火パトロール等の防災活動を実施し、地域の中で防災の要として学区民から深く信頼される存在となっています。また、藤野分団長を中心に分団員が一丸となり、日々、訓練に励んでおり、個々の分団員からは地域愛に根差した活気と覇気が感じられます。



勤修消防分団による通常点検  
～ 山科消防団総合査閲 ～



勤修消防分団による放水訓練の指導

### 学区担当者から

勤修学区には、自治連合会をはじめとした地域組織のネットワークを基に、地域のイベントでボランティアとして活躍されている方が多数おられます。

地域社会とのつながりが希薄化する昨今にあって、皆で力を合わせ、陰ひなたなく日々努力されているその方々の活動は、震災等の大規模な災害が発生した場合においても、力を発揮されることと心強く感じています。

最後になりましたが、学区の名前である「勤修」の語源は勤修寺という地名と「勤学・修身」という言葉から名付けられたそうです。「勉強熱心と良心に基づく行動」。これは、確かに私がこの学区の方々と接し、日々感じていることです。

平成27年  
6月号目次

### お問い合わせ先

京都市 消防局消防学校教養課

電話:075-682-0119

ファックス:075-671-1195

### 区役所ホームページ

[北区](#) [上京区](#) [左京区](#) [中京区](#) [東山区](#) [山科区](#) [下京区](#) [南区](#) [右京区](#) [西京区](#) [伏見区](#)

閉じる

## 平成27年6月号 ザ☆消防

ページ番号182592

ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます



2015年6月1日



昔の話をするほど自分はまだ老け込んでいないと思っていましたが、気が付けば消防生活30年近くになろうとしています。

災害現場活動というのは受け身であって、自分から営業して探しに行くものではありません。したがって、長年、災害現場活動に従事していても、人によっては経験値に多少差があると思います。私は、先輩から聞いた現場の話や過去の事案の話をととても大切にしています。しかし、やはり自分が経験した現場ほど役に立ち、失敗したことほど記憶に残り、次に生かせるのではないかと思います。

### ある現場において

私がK区で勤務していたとき、木造2階建ての民家の2階が焼失した火災現場がありました。

現場に到着したとき、私の部隊は建物背面から進入しました。木造2階建てとの情報でしたが、3階部分に窓があるのを確認したため、3階建ての間違ひではないかと思いました。建物内部に入るとやはり2階建てです。確認のため出火室にいた先着消防隊員に聞いてみると、やはり「2階建てだ。」と答えます。どうしても気になったので、2階ベランダから小屋裏付近に窓があるか、地上の消防隊員に確認したところ、やはり「ある」と答えます。

反対側の外壁を見たら、なんと換気扇が溶融しているのが確認できました。再び2階の出火室へ行き、真っ黒に焼けた天井をよく観察すると、四角の形をしたものを発見しました。これは「天井収納庫のハッチ」でした。

天井収納庫内にまだ残火の可能性があるので、慎重に開放し、内部を確認後、残火確認と再燃防止のため、収容物を外に出して事なきを得ました。

この火災から数箇月後に、同じK区内において木造2階建てから火災が発生しました。この現場は少し特異で、2軒の家を1軒にし、1階が店舗で2階が住居部分になっていました。現場到着したとき、救助隊が2階から要救助者を救出しているところであったため、私の部隊は要救助者の救出支援を実施しました。

その後、放水活動の交替部隊として待機していました。ところが、1階は鎮火状態で、2階はあまり燃えていないにもかかわらず、小屋裏からみるみる黒煙が噴出してきました。私の部隊が筒先進入し、2階へ進入した際に「もしかして…」と思い、くまなく天井を確認したところ、四角の形をしたものを発見しました。それからは言うまでもなく、天井収納庫のハッチを慎重に開放し、放水したところ、無事に鎮火させることができました。

何でもないようなことかもしれませんが、少しの疑問と経験から、次に生かすことができた例を皆さんに御紹介しました。

### 終わりに

最近、今まであまり経験したことがないことがありました。

それは、炎上火災が、3箇月連続で私の部隊の調査担当区域で発生し、全て最先着部隊であったということです。

私は、今までに何度となく最先着部隊で活動した経験はありますが、これほど、毎月連続で活動したことは記憶にありません。

職場の後輩たちに、消防隊が火災現場で一番真価が問われるときは、部隊が最先着したときにどれだけのことできるかに尽きると話をしています。

日頃の訓練の成果はもちろんですが、経験からくる冷静な状況判断、的確な情報伝達等は非常に重要であり、その現場全体の活動を左右すると言っても過言ではないと思います。さすがに、3箇月連続で最先着すると、1回目より2回目、3回目と反省点を確実に修正し、部隊としての活動は確実に向上してきたと思います。

どれだけ、体力、技術があっても経験だけはどうしようもないことです。そして、経験は生かされなければ意味がないのです。それが、消防活動において自信となり、財産となって、今後生きてくるものと思います。



▲筆者左端



▲筆者2列目左端

平成27年  
6月号目次

### お問い合わせ先

京都市 消防局消防学校教養課

電話:075-682-0119

ファックス:075-671-1195

### 区役所ホームページ

[北区](#) [上京区](#) [左京区](#) [中京区](#) [東山区](#) [山科区](#) [下京区](#) [南区](#) [右京区](#) [西京区](#) [伏見区](#)

(c) 2015 City of Kyoto. All rights reserved.

閉じる

## 平成27年6月号 あの日あの頃

ページ番号182594

ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます [ツイート](#) [シェア](#) 2015年6月1日あの日あの頃  
新任のとき、そして救急隊員のとき

醍醐消防分署 太西 正良

私は、トイレトペーパーの争奪戦や狂乱物価が落ち着いた頃の昭和50年4月に消防学校に入校、同年7月末に卒業し、北消防署に配属されました。

当時の勤務体系は、二部制で6当務を勤務した後、7当務目が休日という勤務サイクルであり、休みなく出勤していたように思います。

北消防署の第1消防隊、第2消防隊は休日要員を含め、7名から8名が配置され、新任は消防車のキャビン(ドア無し)に乗ることはなく、出勤及び調査出隊時は後部荷台の立席に乗るのが常でした。

初出勤の火災は、指令場所を聞いても初めて聞く地名で、場所もわからないまま、同期生(当時は1署に6名から10名が配属されていました。)と消防車の立席に乗り、黒煙が上がっているのを見て武者震いをして、現場に着いても興奮して先輩に言われるまま、伝令に走ったことを覚えています。

半年後に後輩が入ってきましたが、この頃から社会は高度経済成長時代から安定期に移り、民間の求人数が減ったことから公務員の人気が上がって、入ってくる後輩は全て年上という状態が数年続きました。

北消防署には望楼があり、受付での勤務後、引き続き、この望楼に上がって双眼鏡で火災の発生を警戒していましたが、公衆電話が普及し、望楼から火災を発見することは少なく、火災指令後の望見状況を指令センターに報告することが主な業務になっており、何度か火災を発見した先輩もおられました。新任時代は、少しでも煙が上がるのを見れば緊張し、双眼鏡でその場所を見続けていました。下京消防署にも同様に望楼があり、「下京消防署より先に火災を発見する!」との気概で、先輩共々、中京区、上京区、そして東山連峰の山火事には特に気を付けていた記憶があります。

また、当時の給与は現金支給で、給料の支給日と手当の支給日がそれぞれあり、支給日が非直のときは支給されるまで、署の近くの喫茶店で朝食を兼ねて上司、先輩たちと一緒に集まり、自分のプライベートのことなどを話したり、コミュニケーションが図れる環境が整っていたように思います。

このときの直属の係長、隊長で忘れられない方がおられました。いずれの方も人情味に長け、隊員やその家族のことまで、常に気に掛けてくださいました。今、自分が隊の編成を担当する立場になりましたが、常に、隊員や隊員が家族を思いやる気持ちを十分に理解して、できる限りの配慮を忘れないよう、心掛けています。

北消防署に配属されてから十数年後、消防隊員として四条消防出張所で勤務していた頃に勤務体系が二部制から三部制に変わり、同時に、私は四条消防出張所の救急隊に任命されました。まだ、救急救命士制度ができて間もない頃で、下京消防署の救急隊が高規格救急車を運用しているのみで、若干の救急課程の教育を受けただけで救急隊長として乗り組んでいる隊もあり、私もその一人でした。

四条消防出張所の救急隊は、当時も出勤件数が市内で最も多く、救急の内容も多様で、様々な現場経験をしました。救急隊として習得した知識、技術がすぐ現場で生かされることが多く、ここで救急業務の楽しさを知りました。そして、30代の男性の突然死の現場で自分自身では十分な処置ができなかったことの後悔から、救急救命士の資格取得を目標にし、4年後に資格を取得しました。その後、伏見消防署、山科消防署、勤修寺消防出張所の救急隊で勤務しました。

救急隊のとき、自宅での出産に立会い、さい帯を切ったことから、後日、搬送先の病院に赴き、出生証明書に署名をしたことや、身体の不自由な方が心肺停止の傷病者に心肺蘇生をして、その後、社会復帰された現場、交通事故で心肺停止となった傷病者に、隊員が素早く路上で除細動をして社会復帰された現場等、この原稿を記していると、つい最近のことのように思い出してきます。



昭和52年頃  
北消防署にて

### 結びに

新任時代は自信喪失に陥り、何度も辞めようと思ったときや現場の状況判断が甘く周囲に迷惑を掛けたとき、温かく見守ってくださった先輩や声を掛けてくれた良き同僚がいたお陰で、41年間もの消防生活を過ごすことができました。側で見守ってしてくれた先輩そして同僚に、この紙面を借りてお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。



平成27年  
醍醐消防分署にて  
筆者中央

平成27年  
6月号目次

### お問い合わせ先

京都市 消防局消防学校教養課

電話:075-682-0119

ファックス:075-671-1195

### 区役所ホームページ

[北区](#) [上京区](#) [左京区](#) [中京区](#) [東山区](#) [山科区](#) [下京区](#) [南区](#) [右京区](#) [西京区](#) [伏見区](#)